

第11回みどり香るまちづくり企画コンテスト授賞式

特別講演

2017年3月1日



何度も訪れたいとなる 「香り風景」をつくる

株式会社セントスケープ・デザインスタジオ

代表取締役 小泉祐貴子

- 第9回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト応募まで
- 「におい・かおる環境協会賞」受賞後の取組み
- 「香り風景」のご紹介と
株式会社セントスケープ・デザインスタジオの仕事

香りに対する社会的認知の高まり・・・！

環境デザインの中にも香りという視点が生まれつつあります。

2006年12月 「感覚環境の街作り」 報告書 （環境省発行）

⇒ 熱環境、音環境、光環境、とともに「かおり環境」の重要性を指摘

4. かおり環境分野

4.1. 「かおり設計」の定義と対象

(1) 「かおり設計」の定義と対象

「かおり設計」とは、「街作り」の中に、地域の状況（社会的状況及び自然環境）に応じたかおり環境を活かすため、必要な具体的なかおり要素の選定、配置、設置の方法等の諸点を設計することである。また、対象となる空間については室内空間を含まず屋外空間を中心に考える。またかおり要素としては、自然のかおり（樹木・草花、潮風、土等）を中心に、地域の文化・歴史や生活とかかわりのある伝統的なかおり（温泉、墨、線香等）等も含むものとする。

(2) 街の「かおり設計」の意義

「かおり」はより快適でうまいやゆとりのある街作り（空間づくり）ができる重要な環境要素のひとつといえる。今後の街作りにおいては都市住民の生活の質と広域を含む環境への影響の両面を配慮することが重要であるが、そのためには嗅覚（かおり）に着目した新たな視点を都市更新に盛り込むことも重要である。

4.2. 街作りへの「かおり設計」の導入

街路樹（沿道にならぶキンモクセイ等）や公園内の花木草のように、街に点在するかおり要素（樹木・草花）を用いて街の「かおりによる個性」を演出するためには、地域・街区にあった「かおり設計」を導入する機会を多方面から捕らえるよう努める必要がある。ただし、導入に当たってはかおり環境の押しつけとならないよう注意することが重要である。かおりは、一瞬かおるのが奥ゆかしく、常にかおるのは鼻につく場合があるので、かおりの強さや時期に限られる自然のかおりを中心とした「かおり設計」が望ましい。その為、人工的なかおりを追加していくという発想ではなく、むしろ地域にもともと存在する自然のかおりに気づく機会を増やすとともに、このような機会を契機に、地域固有の価値を再発見していくことが重要である。なお、かおり設計を導入する機会としては、具体的には、再開発等での導入、学校での導入、商店街や自治会の地域緑化の活動への導入、町おこしの一手段としての導入といった場面が考えられる。



【企画の概要】

まちづくりに「かおり」の要素を取り込むことで良好なかおり環境を創出しようとする地域の取組を支援することを旨とし、「かおりの樹木・草花」を用いた「みどり香るまちづくり」企画コンテストを実施します。優秀な企画に対しては「かおりの樹木・草花」を提供*し、まちづくりを支援します。

http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/

(コンテストHPより抜粋)

【主催】 環境省

【応募主体】 地方公共団体、民間企業、学校法人、商店会、町内会等の住民団体やNPO等の各種団体、個人など

※ただし、植栽場所を確保していること（植栽場所を所有していない場合は、その土地の所有者の同意を得ていること）。また、植栽後の維持管理体制が明確であること。

【コンテストの目的】 (一部抜粋)

まちづくりに「かおり」の要素を取り込むことで、住みよいかおり環境を創出することを目指します。



【企画の概要】

まちづくりに「かおり」の要素を取り込むことで良好なかおり環境を創出しようとする地域の取組を支援することを目指し、「かおりの樹木・草花」を用いた「みどり香るまちづくり」企画コンテストを実施します。優秀な企画に対しては「かおりの樹木・草花」を提供*し、まちづくりを支援します。

http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/

(コンテストHPより抜粋)

【主催】 環境省

【応募主体】 地方公共団体、民間企業、学校法人、商店会、町内会等の住民団体やNPO等の各種団体、個人など

※ただし、植栽場所を確保していること（植栽場所を所有していない場合は、その土地の所有者の同意を得ていること）。また、植栽後の維持管理体制が明確であること。

【コンテストの目的】 (一部抜粋)

まちづくりに「かおり」の要素を取り込むことで、住みよいかおり環境を創出することを目指します。

応募にあたっての所感

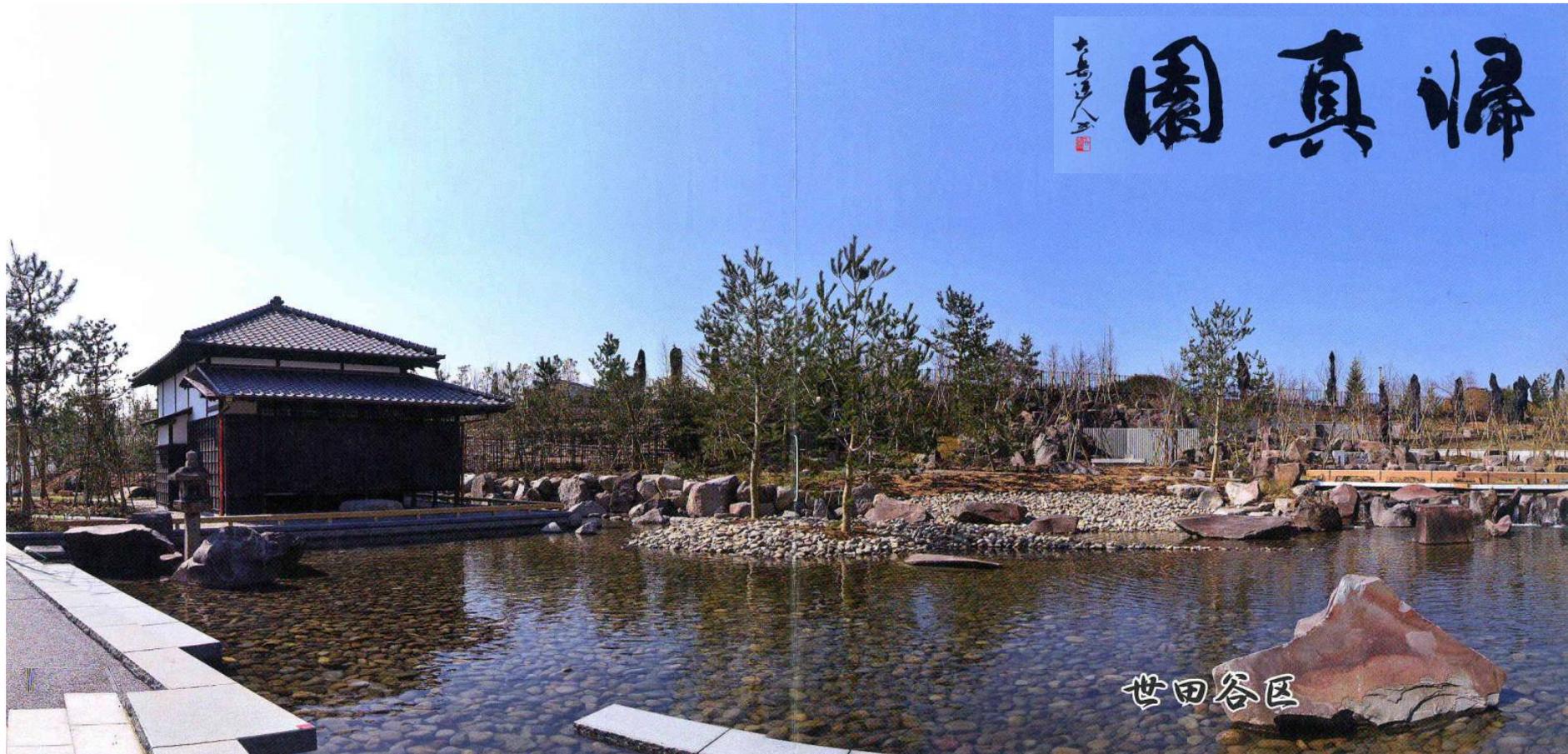
・個人が発想の主体となった場合、土地の所有者の許諾、維持管理体制など、応募の条件を整えるまでのハードルが大きいだらうと感じた。

解決策としては、たとえば、

- ➔ 提案面積によっては、受賞後に協力先、実現先を探すことも許可する
- ➔ 応募主体とされている、地方公共団体、民間企業、学校法人、商店会、町内会等の住民団体やNPO等の各種団体、と、アイデアを持った個人を橋渡しするようなしくみを作る

・応募書類の作成にイラストレーターが指定されているが、一般には持たない人も多いと思われるので、パワーポイントなど他のソフトでの作成も可できないか。

世田谷区二子玉川公園内「帰真園」



香りも楽しめる現代の日本庭園

～住宅街・日本庭園・多摩川をつなぐ香りの道～

平成26年度 第9回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト
(環境省主催)におい・かおり環境協会賞

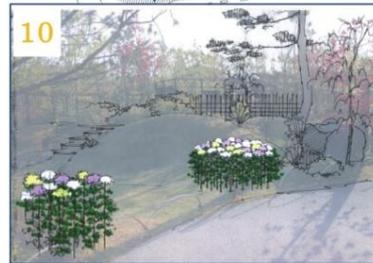
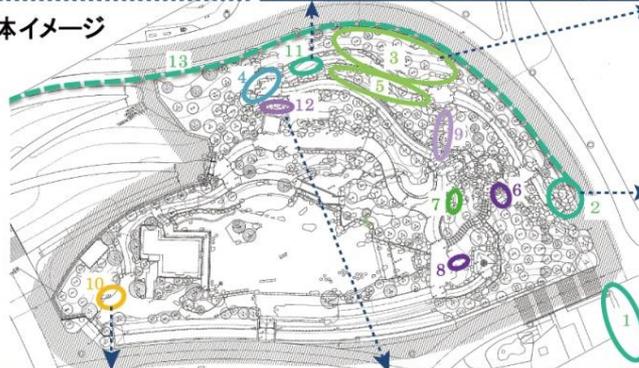


申請団体: セントスケープ・デザインスタジオ+高崎設計室
共同企画団体: 世田谷区役所みどりとみず政策担当部公園緑地課 玉川公園管理事務所
株式会社自然教育研究センター
計画地: 世田谷区立二子玉川公園内「帰真園」およびその周辺エリア

- 【植栽予定場所】
1. 公園ビジターセンター前
 2. 駅に最も近い帰真園入口「玉川口」
 3. ゆるい坂道「おもしろはせの道」付近
 4. レイズベッド「万人花籃」周辺
 5. ゆるい坂道「おもしろはせの道」付近
 6. 庭園全体を眺める園路の分岐点周辺
 7. ベンチ周辺の足元
 8. 東屋「時雨亭」前庭
 9. 根府川石の階段「二子坂」の両側
 10. 桃林
 11. 「おもしろはせの道」の擁壁沿い
 12. 屋外の茶席「万人席」奥の擁壁沿い
 13. 帰真園外周の園路沿い



全体イメージ



東京の西の玄関に位置する二子玉川は、小さい子供から二年齢の方まで多くの家族連れが集う、東京の未来を担うエリアである。2013年春の開園以来、市民の憩いの場として定着しつつある帰真園に、香りの日本庭園というユニークな彩りを加えて、四季折々の風景の美しさ、楽しさを五感で感じてもらえる場所にしようという計画である。「香り」をきっかけとした新しい東京の名所として、老若男女国内から訪れる方にも海外からのビジターにも、ユニバーサルに、日本文化の伝統や暮らしにひそむ美しさ・楽しさ・豊かさを発信できる場としていきたい。

ポイントA 香りも楽しめる日本庭園

日本庭園という場にふさわしい「香り」の風景を作りだせるように、日本に自生するもの、古典文学に登場する、古来より親しまれている香りの植物たちを中心に活用する。香りをきっかけとして、古の日本庭園に遊ぶ大人人たちのようすを時を超えて想像してもらえるような空間を創出する。

ポイントB 香りをつなぐ防災の道

現代の都市部に作られた日本庭園、という独自性で存在感を示す帰真園。駅二階から庭園までつながる遊歩道は、連続した藤棚で誘導される。遊歩道の終点正面にあるビジターセンター周辺から庭園入口、そして庭園の外周部に沿って「フジ」を象徴的に配置することで、フジ(藤・富士)をきっかけとした街への連続性を生み出す。また、駅から庭園外周部へと続く歩道は、近隣住民の災害時の避難経路にも指定されており、日ごろから散歩をしたくなるような場所を作ることで、緊急時の冷静な対応を促せるものとする。

ポイントC 地域に愛される日本庭園

日本の文化に根差した香りの植物の面白さを体験してもらいイベントなどを、公園ビジターセンターと共同で企画するなど、場を活かした楽しい五感の学びの場としての活用も展開していく。2020年の東京オリンピックを視野に入れ、海外からの観光客も呼び込んで、日本文化発信の一拠点としていきたい。

香りのテーマ

日本庭園という場にふさわしい、和的な「香り風景」を作り出すために、日本に自生するものや古典文学に登場する、古来より日本文化の中で親しまれている香りの植物を中心に活用する。花色は「白」をテーマとして、清楚な気品を感じられるような、落ち着いた趣のある風景を創り出す。フジも一般に多くみかける紫フジよりも少しふっくらとボリューム感のある香りを漂わせる白花のものを中心として、見た目も香りも特徴的な風景をつくる。



使用する香りの草花と香りを楽しめる時期

植栽の方針: 香りのよい植物として、花だけでなく、葉や茎などからよい香りがする植物を、足元のグラウンドカバー的に用いることで、一年中、散歩道中でふと足に触れた時などに、ふわっと立ちあがる香りを楽しむことができる。既存のカツラやクロモジ、クチナシ、なども活用しながら、区民が参加できる「香りのガイドウォーク」などの企画も考えられる。

引用写真: 『観音園芸百科』朝日新聞社(ササユリ、ササユリ、ドイツスズラン、リンギク)
『日本の野草』山と溪谷社(イブキジャコウソウ、リュウノボウギク、ニオイタチツボスミレ)

植物名	植栽場所	本数/株数	香る部位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
フジ(白)	1,2,11,13	24	花												
フジ(紫)	12	2	花												
ニホンズイセン(白)	3	2000	花												
ササユリ	5	350	花												
ササユリ	5	210	花												
ドイツスズラン	4	700	花												
イブキジャコウソウ	9	1500	全草												
リュウノボウギク	7	200	茎・葉												
ニオイタチツボスミレ	6,8	350	花												
リンギク(秋咲)	10	110	花												

副賞の植栽の成長を見守る



受賞後の取組み

★中心的役割：世田谷区二子玉川公園ビジターセンター

2015年 5月 帰真園体験プログラム

「初夏に香る・育む ～帰真園で香り体験と花植え～」

2015年 9月 帰真園 夜の特別プログラム

2015年10月・11月 東京農業大学演習・公開講座

2016年 6月 帰真園体験プログラム

「初夏に香る・育む ～帰真園で香りさがし～」

2016年 9月 帰真園 夜の特別プログラム

2016年10月 東京農業大学演習・公開講座

2015年5月 帰真園体験プログラム

「初夏に香る・育む ～帰真園で香り体験と花植え～」



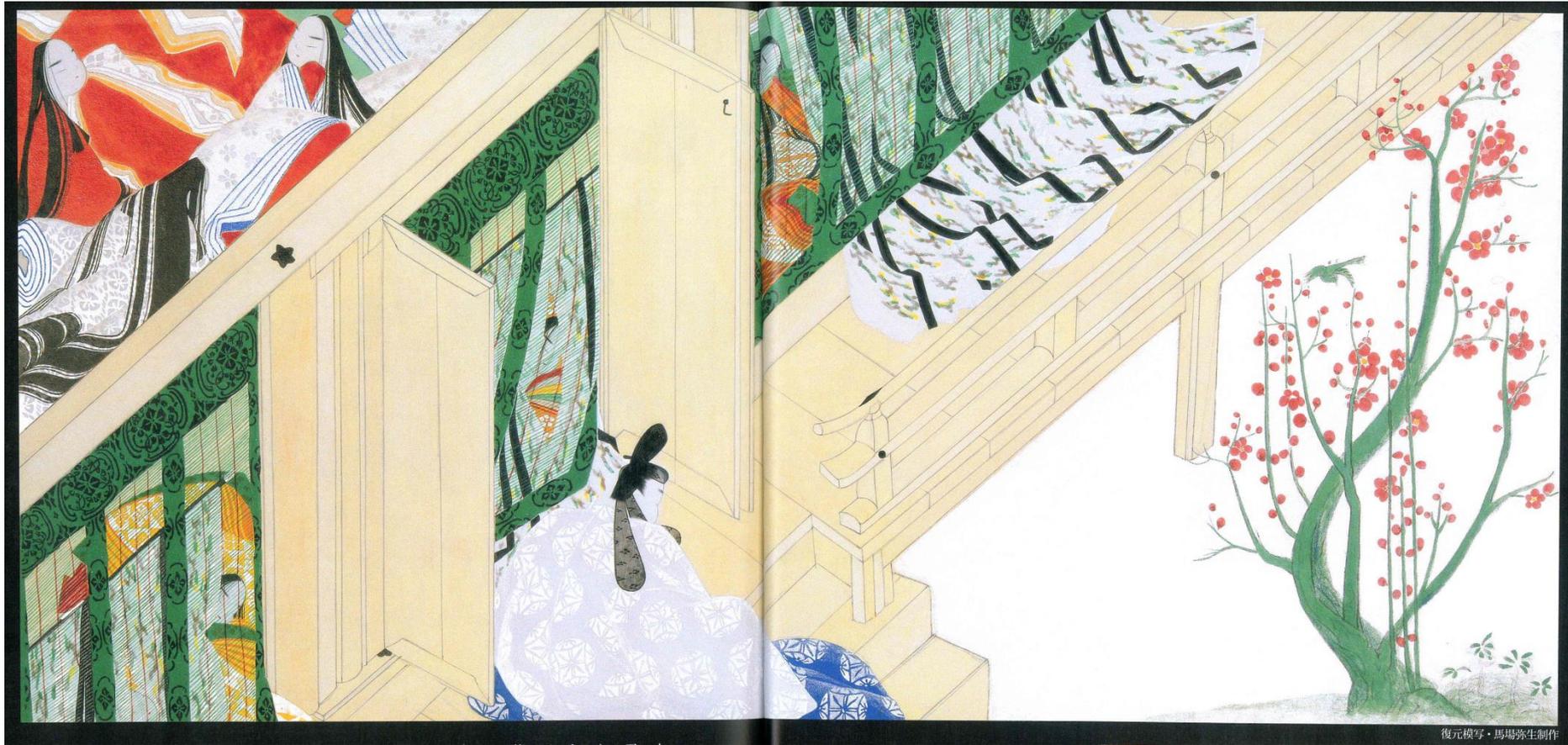
2015年5月 帰真園体験プログラム

「初夏に香る・育む ～帰真園で香り体験と花植え～」



2015年5月 帰真園体験プログラム

『源氏物語』にみる庭園の香り



復元模写・馬場弥生制作

(『よみがえる源氏物語絵巻』「竹河一」)

2015年5月 帰真園体験プログラム



『源氏物語』にみる白梅と紅梅の香り

「園に匂へる紅の、色にとられて香なん白き梅には劣れると言ふめるを、いとかしこくとり並べても咲きけるかな」
（「紅梅」）

園に咲きにおう紅梅は、その色に負けて、香りは白梅に劣っているといわれるが、まったくみごとに二つながら兼ね備えて咲いたものよ



背景の状況： 大納言から送られた紅梅の香りもよいものを受取り、匂宮がほめる言葉。普通は白梅のほうが香りが勝ると思われていた。

2015年9月

帰真園

夜の特別プログラム

秋の夜長

日本庭園「帰真園」夜の特別プログラム

2015年9月27日(日)

A 18:30～19:30

B 19:30～20:30

C 20:30～21:00

※各回とも同じ内容です

※小雨決行、荒天中止

満員御礼!

秋の夜長に鳴く虫の声を聞いたり、くず湯を味わったり…
魅力いっぱいの夜の帰真園をスタッフがご案内します。

好評につき、
定員拡大!

○申込制 各回 15名 (小学生以下は保護者同伴) ○参加費無料

協力 高崎康隆氏(帰真園 作庭)/東京農業大学造園科学科・華道部

申込期間: 8月25日(火)～9月19日(土)午後5時まで。

申込方法: 「ビジターセンター窓口」「電話」「FAX」で、先着順に受付します。
体の不自由な方、コミュニケーションに不安のある方など、当日、スタッフによるお手伝いが必要な場合はお知らせください。

※期間内でも、定員に達した場合には締切となります。
※締切を過ぎても定員に満たない場合は、先着順で受付します。
※提供された個人情報は本事業実施のみに使用し、その他の目的で使用することはありません。

二子玉川公園ビジターセンター (TEL: 03-3700-2735 FAX: 03-6805-7591)
<http://www.futako-tamagawa-park.jp/>

2015年9月 帰真園 夜の特別プログラム



2015年10月・11月

東京農業大学演習・公開講座



2015年10月・11月

東京農業大学演習・公開講座



2016年6月 帰真園体験プログラム

「初夏に香る・育む ～帰真園で香りさがし～」



2016年6月 帰真園体験プログラム

「初夏に香る・育む ～帰真園で香りさがし～」



2016年9月

帰真園 夜の特別プログラム



秋の夜長

日本庭園「帰真園」夜の特別開園
2016年9月16日(金)

A	18:15 ~ 19:00
B	18:45 ~ 19:30
C	19:15 ~ 20:00
D	19:40 ~ 20:25

※小雨決行、荒天中止

十五夜の日に魅力いっぱいの秋の帰真園をぜひお楽しみください。

○申込制 名回20名 (小学生以下は保護者同伴) ○参加費無料

○ミニ解説 高嶋康隆氏(庭園制作監)/小泉祐貴子氏(師匠園香りの地蔵設計)
いずれかのお話が聞けます。(自由参加)

申込期間：8月13日(火)～9月8日(木)午後5時まで。

申込方法：「ビジターセンター窓口」「電話」「FAX」で、先着順に受付します。
体の不自由な方、コミュニケーションに不安のある方など、当日、スタッフによるお手伝いが
必要な場合はお知らせください。

※期間内でも、定員に達した場合には締め切りとなります。
※無料入場券でも着席に満たない場合は、先着順で受付します。
※提供された個人情報はお客先以外に使用し、その他の目的で使用することはありません。

二子玉川公園ビジターセンター (TEL: 03-3700-2735 FAX: 03-6805-7591)
<http://www.futako-tamagawa-park.jp/>




A long autumn night

Special opening of the park in the Japanese garden
Kishin'en at night time.



Friday, September 16 – 2016

[A]18:15 ~ 19:00 [B]18:45 ~ 19:30 [C]19:15 ~ 20:00 [D]19:40 ~ 20:45
You can choose in timetable (A = D) upon arrival.

The moon is shining in the autumn night, which gives you great pleasure,
please enjoy the attractive Kishin-en garden.

○The number of applicants at each timetable is 20 people.
○Free admission
○Commentators: Yasutaka Takasaki, (Kishin-en Garden planner)
Yukiko Koizumi (Kishin-en Scentscape design)

How to apply:
1 - At the park front desk.
2 - By phone at tel. (03) 3700-2735
3 - By fax. (03) 6805-7591

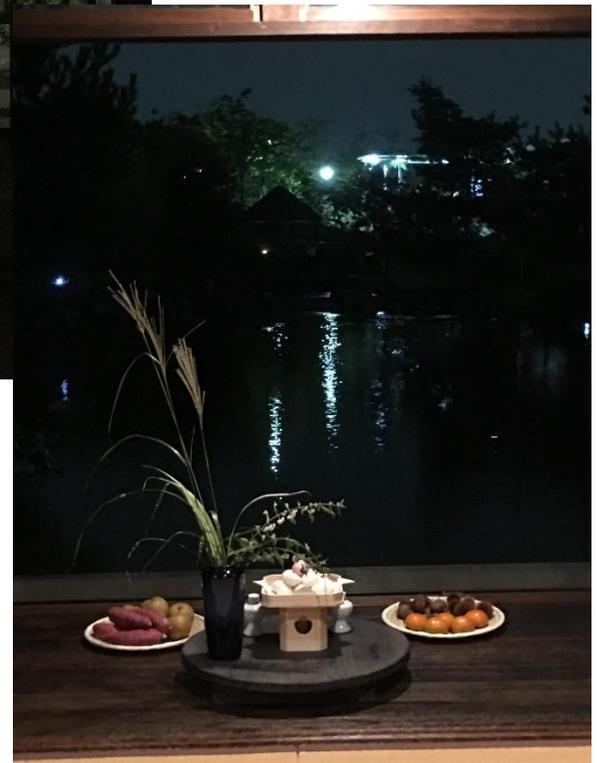
Please send us an application with the following information:
1 - Your name
2 - Age
3 - Address
4 - Telephone number.
5 - Please tell us how you hear about this event.

Notes
Application deadline September 08 - 2016
If the number of applicants has reached the limit the application deadline will be closed.
In case of heavy rain or storm the event will be canceled.

参加者募集 (日本語)

参加者募集 (英語)

2016年9月 帰真園 夜の特別プログラム



2016年10月

東京農業大学演習・公開講座



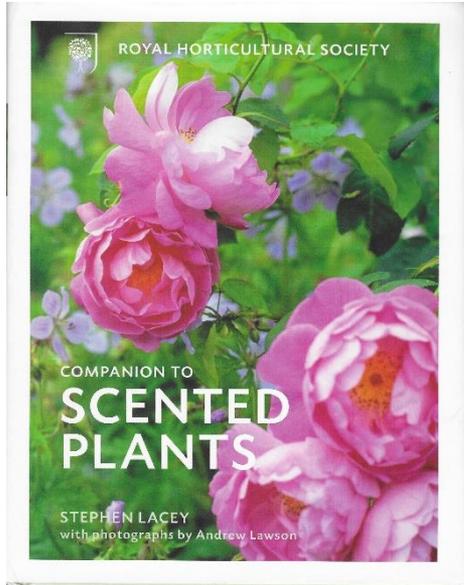
2016年10月

東京農業大学演習・公開講座



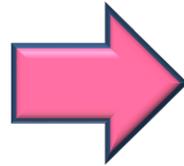
香り植物の参考図書

英国王立園芸協会「香り植物図鑑 花・葉・樹皮の香りを愉しむ」



ROYAL HORTICULTURAL SOCIETY
“COMPANION TO SCENTED PLANTS”

STEPHEN LACEY
With photographs by Andrew Lawson



英国王立園芸協会
「香り植物図鑑 花・葉・樹皮の香りを愉しむ」

スティーブン・レイシー 著
アンドリュー・ローソン 写真
小泉祐貴子 訳

「香り風景」という視点

日本人にとって、香りとの関わりは・・・

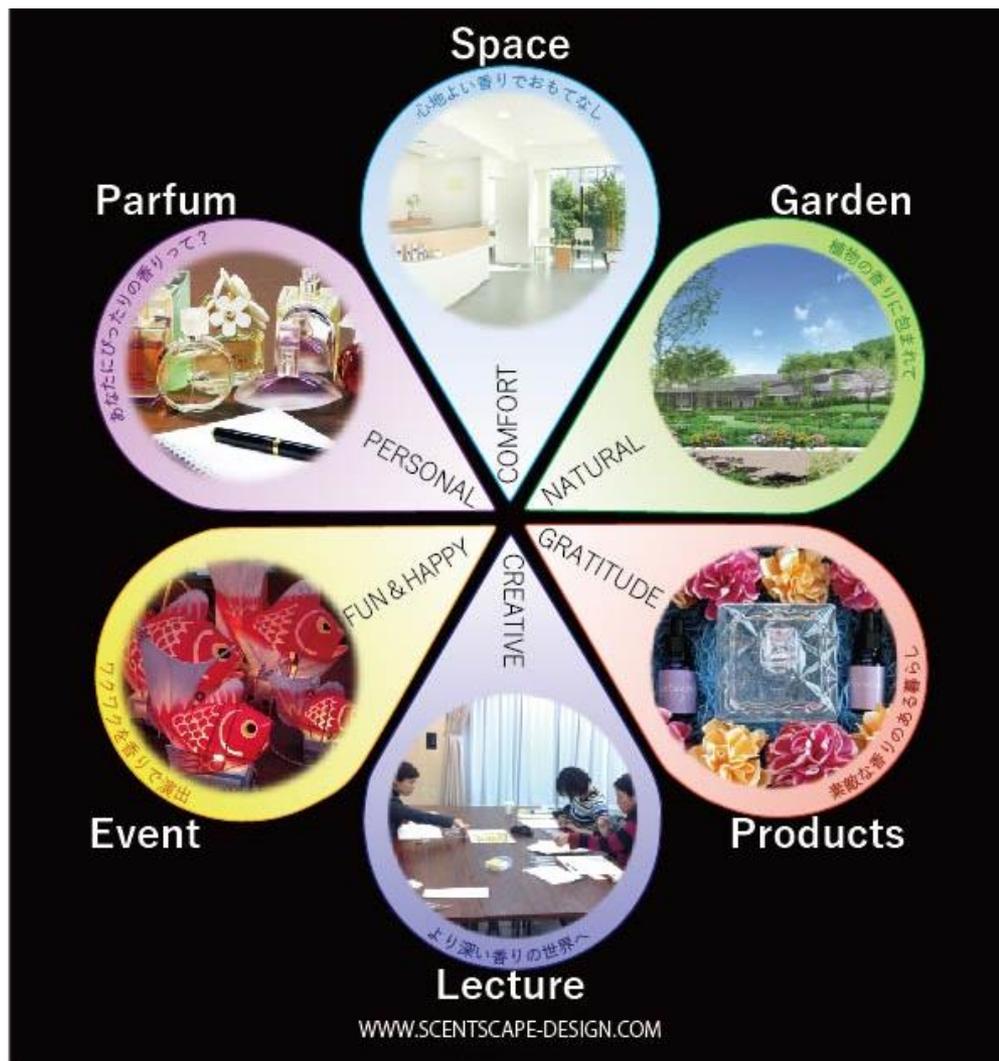
ただ香らせるのではなく、そこに物語や情緒が存在するもの。

モノではなく、「風景」。

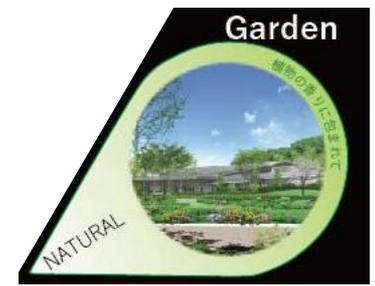
「香り風景（匂い風景）」とは、嗅覚だけを切り離して捉えた風景では決してなく、**匂いや香りという感覚刺激を中心としながら**、他の感覚によっても複合的に捉えられる空間の風情をも含んだ風景であり、それらを周りとの関係において**総合的に捉えた風景概念**である。

「香り風景」を創り出す

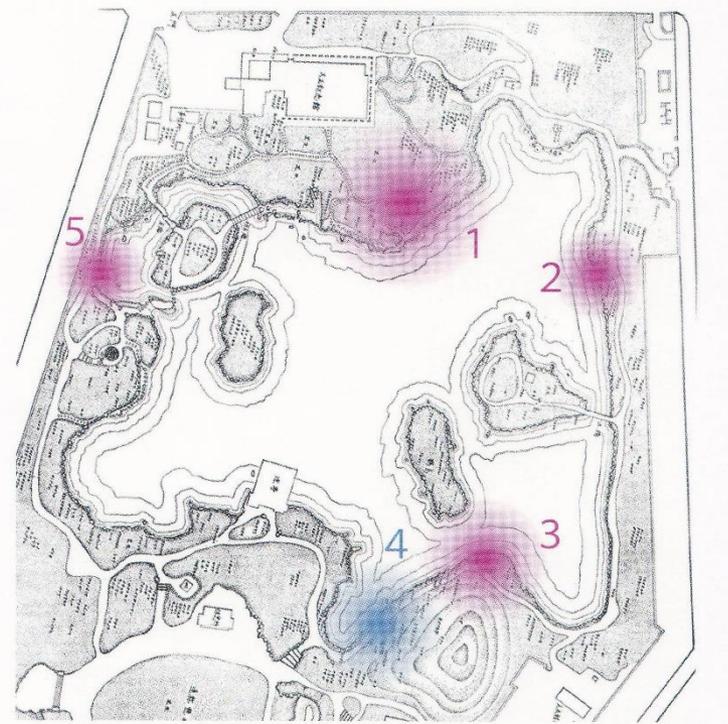
株式会社セントスケープ・デザインスタジオの仕事



事例のご紹介 (三重県津市「いつくしみの杜」の植栽設計)



事例のご紹介 (清澄庭園でのライトアップ+香り風景の演出)



事例のご紹介 (ギャラリー、ホテル、クリニックなど)



事例のご紹介 (香水制作 & 香水のコンサルティング)





何度も訪れたくなる「香り風景」をつくる

「あの日、あの時、あの場所で」

- ・ 風景の中にふと漂う香りを植栽などで創出する
 - ➔ できるだけはっきりとした印象を演出できるポイントも作る
 - ➔ 記憶に残る「香り風景」へ
- ・ 後日再びその香りを嗅いだ時・・・
 - ➔ 香りがトリガーとなり、
「あの日、あの時、あの場所で」体験した「香り風景」を
五感の記憶とともに鮮やかに思い出す
 - ➔ またあの場所に行ってみたい！
 - ➔ さらに訪れる季節によって異なる「香り風景」を体験できると素晴らしい！

Scentscape 
D e s i g n / S t u d i o